

第5学年 防災学習指導案（総合的な学習の時間）

日 時 令和4年9月29日（木）
場 所 5年教室
児 童 10名
指導者 花ノ木 明子

題材について			
題材名	噴火から命を守る方法を伝えよう		
目標	岩手山が噴火した場合の被害を理解し、噴火に関する情報を活用しながら、自分や家族の命を守るために避難行動をとろうとする態度を養う。		
指導内容	<p>本題材では、岩手山噴火から命を守るための避難行動について学習する。まず、噴火した場合の被害や、その被害を減らすための各機関の取り組みを調べる。そして、噴火に関する情報が発信されていることを知り、その情報を活用した避難行動の仕方について考える。最後に、学習したことをカードにまとめて家族に伝え、家庭の防災意識も高めたい。</p> <p>本時では、噴火被害に関する学習を想起させ、そのような被害から命を守るためにどのような行動をしたらよいかを考えさせる。特に、家庭にいる場合の避難について問うことで自分事としてとらえさせ、防災マップを活用して、避難所までの行き方や準備する物などを同じ地区の児童同士で話し合い、よりよい避難行動について、考えを深めさせたい。</p>		
児童の実態	<p>児童はこれまで、岩手山噴火の歴史や被害、噴火への備えについて学習し、防災への意識は高まっている。しかし、これまでの学習は地域全体としてとらえた内容であったため、自分の家からの具体的な避難行動について知っている児童は少ない。</p> <p>防災意識アンケートによると、自分の地区の避難所を知っていると回答したのは3名である。保護者への防災意識アンケートでも、「防災について家族と話しているか」という設問に肯定的回答をしたのは4名、「災害が起きたら持って行く物を準備しているか」という設問に、肯定的回答をしたのは1名だけであり、実際に噴火への備えをしたり、避難行動について話し合ったりしている家庭は少ない。</p>		
指導計画	<p>第1時…火山が噴火すると起こることを知り、命を守るために知りたいことを考える。 （副読本 P4～P5）</p> <p>第2時…火山が噴火した場合の被害を調べ、身を守る方法を考える。（副読本 P10～P11）</p> <p>第3時…岩手山噴火に備えた取り組みを調べ、それらの取り組みの意義を考えることで、減災のために努力している人々がいることを理解する。（副読本 P16～P17）</p> <p>時間外…野外活動(行事)</p> <p>第4時…岩手山噴火警報を理解し、噴火警戒レベルに合った避難行動について考えることで、命を守る行動をとろうとする態度を育てる。（副読本 P10～P11）</p> <p>時間外…地熱探検隊(総合・社会)</p> <p>第5時…岩手山噴火時の避難所を調べ、自分がいた場所に合った安全な避難経路や行動を考え、命を守る行動をとろうとする態度を育てる。（副読本 P12～P13）【本時 5/6時】</p> <p>第6時…岩手山噴火に備えた準備について、家の人に伝えるカードにまとめる。</p> <p>関連…自然災害とともに生きる（社会）</p>		
本時の指導			
防災教育項目	Ⅱ 対処行動を知る B 学校や自宅周辺の避難場所を知る		
目標	岩手山噴火時の避難所を調べ、自分がいた場所に合った安全な避難経路や行動を考えることで、命を守る行動をとろうとする態度を養う。		
主体的な学び	つきたい力	手立て	評価規準
	噴火に関する情報を基に、自分がいた場所に合わせて、どんな避難行動をとればよいかを考える力。	学校にいた場合と家にいた場合、それぞれの避難の仕方を問い、噴火に関する情報の入手の仕方や避難行動について、友達と具体的に考えさせる。	自分がいる場所にに応じて、命を守るためにどのように行動すべきかを考えて話し合っている。 (発言、ワークシート)

本時の展開		
	学習活動と予想される児童の反応（・）	指導上の留意点と資料（◆）
導入 5分	<p>1 これまでに学習した噴火警戒レベルに合わせた行動を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レベル5になったら避難する。 ・私の家族はレベル4になったら避難を始めよう。 ・そういえば、どこに避難するのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>岩手山が噴火する場合、どのように避難したらいいだろう。</p> </div>	<p>○既習の噴火警戒レベルに合わせた避難行動を想起させながら、本時の課題につなげる。</p> <p>○命を守るための行動を考え、分かったことを家族に伝えるよう、学習の視点をもたせる。</p>
展開 30分	<p>2 学校にいた場合の避難所を調べ、避難行動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴火の危険があると教えてくれるのは先生だから、指示を聞いて行動しよう。 ・避難所は田頭コミュニティセンターだ。 ・被害想定は降灰だから長袖やマスクで体を守ろう。 <p>3 自分が住む地区の避難所を調べ、どのように避難するかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の避難所は平館高校だ。 ・家に誰もいない時、噴火に関する情報はどうやれば分かるかな。 ・火山泥流がくる予測になっているから、なるべく避けるように避難所に行く方がいい <p>4 考えた避難行動を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区によって避難所が違うんだな。 ・火山泥流の被害予想が出ている地区は、なるべく避けて避難していて、いい方法だな。 ・噴火速報はネットでも分かるのか。 	<p>○副読本にある防災マップを活用して、学校付近の被害予想や避難所を調べさせ、避難行動を具体的に考えさせる。</p> <p style="text-align: center;">◆副読本 P12 ◆火山防災マップ(副読本 QR コード)</p> <p>○学校では教師の指示で行動できるが、家にいた場合はどうすればよいかを考えさせることで自分事としてとらえさせる。</p> <p>○家が近い友達同士で、噴火情報の入手の仕方や避難所、想定された被害を確認し、安全な避難行動を話し合わせる。</p> <p style="text-align: center;">◆火山防災マップ（地区別）</p> <p>○交流によって、気づかなかったことを学び合い、考えを深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価：自分がいる場所に応じて、命を守るためにどのように行動すべきかを考えて話し合っている。（発言、ワークシート）</p> </div>
終末 10分	<p>5 学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>噴火に関する情報に注意し、決められた避難所へ行く。命を守るために、想定された被害を避けるよう行動する。</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所が平館高校とは知らなかった。家族にちゃんと伝えたい。 ・自分の地区は、火山泥流の被害が想定されているから、噴火情報を知ったらすぐに行動したい。 	<p>○各地区の避難行動から、命を守るためには想定された被害を避けることが大切であることを確認する。</p> <p>○次時は、これまでに学習した岩手山噴火に備えた行動の仕方をカードにまとめることを伝え、学習したことを家族にも伝えるよう働きかける。</p>